

1 学びの多様化学校のあり方について

<不登校児童生徒の状況>

1 不登校児童生徒数の推移 (人)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小学校	296	294	200	157	109
中学校	516	489	428	389	319
計	812	783	628	546	428

2 不登校出現率

[小学校]	市	県	国	[中学校]	市	県	国
R 6	2.38%	1.98%	2.30%	R 6	7.99%	6.55%	6.79%
R 5	2.31%	1.75%	2.14%	R 5	7.45%	6.24%	6.71%
R 4	1.53%	1.26%	1.70%	R 4	6.38%	5.05%	5.98%

<本市の取組状況>

1 本市の主な不登校支援について

(1) 教育支援センター「すくうる・みらい」運営事業

① 「すくうる・みらい」の運営 (H10~)

- ・通級する不登校児童生徒の学習やスポーツ活動等を支援する。
- ・通級が難しい不登校児童生徒に対して、I C Tによる学習支援を行うとともに、学校と連携して教育相談を推進する (R5~)。

[R 6 入級状況] 小学生 21 人、中学生 46 人、計 67 人

② 体験活動の実施 (H15~)

- ・不登校・不登校傾向の児童生徒を対象に、年間 4 回の体験活動を実施する。
(自然体験、施設見学、ものづくり体験 など)

③ フレッシュフレンド（兄・姉に相当する大学生）の派遣 (H6~)

- ・不登校や引きこもり傾向の児童生徒の家庭を訪問し、交流や相談活動を行う。

[R 6 派遣状況] 対象児童生徒 14 人、派遣回数 168 回

④ 相談活動の実施 [児童生徒、保護者、教職員対象]

- ・「すくうる・みらい」における臨床心理士による相談活動 (H19~)
- ・不登校保護者相談会（「心のふれあい相談会」）での保護者による座談会および臨床心理士による個別相談を年 2 回実施 (H15~)

(2) 校内教育支援センター支援員配置事業

- ・不登校児童生徒の登校支援や教室以外の学びの場を確保するため、市立小学校の校内教育支援センターに、学習支援や生活支援等を行う支援員を配置する。

[R 7 配置状況] 小学校 8 校、中学校 1 校

- ・今後、段階的に支援員の増員を図り、全ての小学校への支援員配置を目指す。

2 学びの多様化学校について

(1) 全国の設置状況

国は、第4期教育振興基本計画（R 5. 6月）において、令和9年度までに全都道府県・政令指定都市に1校以上、将来的に全国で300校の設置を目指すことを示している。

[R 7 設置状況] 58校(小8校、中34校、小中5校、高11校)うち公立37校、私立21校

* 東北は6校設置

- ・宮城県富谷市(富谷市立富谷中学校西成田教室) R 4 ~
- ・宮城県白石市(白石市立白石南小・中学校) R 5 ~
- ・宮城県仙台市(りりぽっぷ学園小学校) R 5 ~
- ・山形県上山市(上山市立西郷小・中学校) R 7 ~
- ・福島県棚倉町(棚倉町立棚倉中学校) R 7 ~
- ・秋田県大仙市(秋田修英高等学校全日制課程ステップアップコース) R 7 ~

(2) スクールビジョン『自分らしく学ぶ』

- ・柔軟な教育課程のもと、自分のペースで学ぶことができる新たな学校
- ・「安心」「笑顔」「達成感」の3つをキーワードにした学校づくり

(3) 学校規模等

- ・小・中併設校（小学校3学級、中学校3学級、計6学級）
- ・小学校は複式学級（2・3年、4・5年、6年）
- ・全児童生徒数60人程度（各学級10人程度）
- ・区域外就学制度の活用、市外からの児童生徒の受入れ

(4) 職員の構成

- ・県費負担教職員
　校長、教頭、養護教諭、中学校教員、小学校教員、事務職員
- ・市会計年度任用職員
　多様な学びのコーディネーター、校務員、学校司書、給食支援員、学級生活支援サポート、スクールカウンセラー

(5) 校舎

- ・既存の廃校舎を活用
- ・普通教室、特別教室（理科室、音楽室、美術室、図書室等）、その他（体育館、グラウンド、保健室、校長室、職員室等）

(6) 今後の主な予定

[R 7] 11月：ニーズ調査、1月：設置検討委員会、3月：文部科学省に開校申請

[R 8] 5月：設置準備委員会、6月：視察、8月：県教育委員会に開校申請

9月以降：保護者説明会、プレオープンスクール、設置準備委員会
　　転入学説明会・受付

[R 9] 4月：開校

秋田市立〇〇〇〇〇〇「スクールビジョン 『自分らしく学び』」



安心



○一人ひとりが安心できる 居心地のよい学校

(1)一人ひとりに寄り添った支援

- ・小・中併設校（小3学級、中3学級）
- ・各学級10人程度の少人数指導
- ・教職員、支援員、スクールカウンセラーによるきめ細かな支援
- ・緑に囲まれた自然豊かな環境
- ・授業に気持ちが向かないときは、△△ルームや多目的ホール、図書室等を活用
- ・心の専門家（S.C.）が日常的に关怀り、カウンセリングやソーシャルスキルトレーニングを受けることができる

笑顔



○人とのふれあいや様々な経験が、 笑顔や自信、希望につながる学校

(1)仲間と協力することの素晴らしさや 感動を味わうことができる協働的な学び

- ・異学年との交流や学び合い
- ・全校器楽合奏による発表会
- ・全校制作（例：モザイクアート、○○づくり）
- ・地域の特色を生かした体験活動
- ・人材や環境を生かした農業体験
- ・植物栽培やビオトープの創作による自然体験
- ・○○との交流や○○○○など地域行事への参加

(2)豊かな教育環境

- ・授業に気持ちが向かないときは、△△ルームや多目的ホール、図書室等を活用
- ・心の専門家（S.C.）が日常的に关怀り、カウンセリングやソーシャルスキルトレーニングを受けることができる

達成感



○自分のペースで学びを進め、 達成感を味わうことができる学校

(1)ひとりのある教育課程の編成

- ・授業総時数を20%程度削減
(小760時間、中770時間程度)
- ・登校時間9：30、下校時間15：30頃
- ・登校日、登校時間の選択が可能
- ・一人ひとりのペースや関心を大切にした個別最適な学びの実現
- ・学習の遅れやつまづきのための学び直しの時間「エンパワータイム」の設定
- ・興味や関心から自由に学習を進めることがができる「ゆめ・AKIタイム」の設置



○保護者へのサポート

(1)安心の支援体制

- ・教員やS.C.による面談
- ・定期的な懇談会の実施
- ・(2)S.C.による講座の開設
- ・子どもの理解や関わり方にに関する講座等を実施



○新設の教科「ゆめ・あきた みらい学」の時間 ゆめ・AKIタイム

・「ゆめ・あきた みらい学」とは…秋田の豊富な教育資源（自然、文化、人）を活かした探究的な学び。地域とつながり、多くの大人や仲間と関わながら、自分の夢と将来をつなぐ学校独自の教科。

- 農業体験（米づくり）
- 伝統行事への参加体験
- 自然体験学習
- 植物栽培
- 地元食材調理体験
- 地元人材交流
- etc.

特色ある新カリキュラム「ゆめ・あきた みらい学」に取り組む「ゆめ・AKIタイム」

